

2019年度
自己点検・評価報告書



2020年6月

学校法人京都中央学院
Y I C 京都ビューティ専門学校

まえがき

本校は、2010年4月に「YIC 京都ビューティ専門学校」として、〈専〉YIC 京都工科大学から分離独立しました。現在は、ビューティスペシャリスト科、美容科、美容科通信課程、ブライダル科の編成から成る総合ビューティ系専門学校として、教育活動に邁進しております。良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できる心豊かなビューティ業界のスペシャリストとして活躍できる人材を育成することを教育理念とし、「もの」から「こころ」へ、美と健康、癒しという社会の要請に応えることで、信頼される学生を地域社会に送り出しております。

いま、専門学校は、18歳人口の減少や社会のグローバル化の中で、教育の質の保証等が求められており、職業実践的な教育機関として、一層の自助努力と自己革新の必要に迫られています。

このような中で、本校の各学科は、専門分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う学校として文部科学省から「職業実践専門課程」の認定（美容科通信課程を除く）を受けてまいりました。また、企業、関係学協会、及び本校関係者から成る「学校関係者評価委員会」や「教育課程編成委員会」からの意見も伺いながら、自己点検・評価を行っているところです。

この度、2019年度自己点検・評価結果を通して、本校の教育活動の全容を広く学外に公表することにより、本校構成員のみならず関係企業、関係学協会、卒業生、あるいは第三者の立場の方々からご意見をいただき、自らの責任をもって改善を行っていきたいと考えておりますので、皆様方のご意見・ご要望をいただければ幸いです。

2020年6月

学校法人京都中央学院
YIC 京都ビューティ専門学校
校長 村田 忠男

2019年度 YIC京都ビューティ専門学校 自己点検・評価結果

実施日：2019年4月1日～2020年3月31日

学校名：YIC京都ビューティ専門学校

1. 学校の教育目標

1. 専門知識と技術を習得し、自己研鑽に励む人材を育成する。
2. 社会の変化に対応できる人材を育成する。
3. 慈愛の心を持ち、他職種とも協調できる人材を育成する。
4. 利他の精神で、地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 教育の質の保証

- ・2019年度の目標から、教職員の能力アップとともに、学生指導が教員の中で共有され、システムとして機能するように意識・体制をブラッシュアップする。
- ・美容科、ビューティスペシャリスト科、ブライダル科のコンセプトを全教員が再度理解し、共通認識の上で現場で求められる人材育成に努める。

(2) 退学者3%以下

- ・担任を中心としながらも学科・教務全体でクラス運営に関わり、他部署とも連携を図りながら、学生一人一人の状況を的確に把握する。
- ・保護者と連絡を密に取り、学校と家庭が連携した指導を行う。

(3) 入学定員の充足

- ・オープンキャンパス等への参加者の一人一人の思いをしっかりと受け止め、高校生に寄り添った進路指導のサポートをし、不安の解消に努める。
- ・社会のニーズを把握し、社会に貢献出来る学生を育てる事により高校生・保護者から選んでいただく。
- ・オープンキャンパス参加者に、美容師、ヘアメイク、ブライダルスタイリスト、エステティシャン、ビューティアドバイザー、ネイリスト、ウェディングプランナーの7つのキーワードを伝え職業観を理解、YIC京都に共感していただき出願に繋げる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1	学生便覧 学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	4.2
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④	3	2	1	職業実践専門課程委員会の議事録 学内就職説明会アンケート オープンキャンパス参加者アンケート	3.1.1
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	学生便覧 学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録 学校ホームページ	3.1.2 e)
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	3.1.3 a)
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	学生便覧 オープンキャンパス保護者説明会資料 入学前新入生保護者説明会資料 学校ホームページ	3.3.1 a)

① 課題

1-5においては、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに関して、学生や保護者の理解度が不十分を感じる。

② 今後の改善方策

新入生保護者説明会、及びオリエンテーションで3つのポリシーについてしっかり説明する。また、学生については日々の指導においても繰り返し伝える。

③ 特記事項

2 学校運営		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
2	1	④	3	2	1	学則 学校設置認可申請書 学校ホームページ	4.1 x)
2	2	④	3	2	1	組織図 校務分掌 経営計画書	4.1
2	3	④	3	2	1	財務報告関係(ホームページ開示資料) 起案書・審議資料作成ガイドライン 部門ミーティング議事録 経営会議資料 学校中期計画・学校計画	4.1
2	4	④	3	2	1	学校中期計画・学校計画 事業計画書	4.2
2	5	④	3	2	1	学校中期計画・学校計画 事業計画書 経営計画書	4.2
2	6	④	3	2	1	組織図 給与規程 出張旅費支給規程 自己申告制度規程	4.1
2	7	④	3	2	1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	8	④	3	2	1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	9	④	3	2	1	非常勤講師懇談会実施要項 授業アンケートによる面談記録 授業参観記録	4.7
2	10	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録 クレーム処理手順及びクレーム報告書 貸し教室・貸し会議室利用アンケート	4.10
2	11	④	3	2	1	ホームページ上の「情報公開」ページ	3.3.1 x)
2	12	④	3	2	1	グループウェア内のメニュー画面(業務効率化) 各種証明書発行までの流れ(フロー) s-Wing入力画面 高校情報記録 オープンキャンパスお申込確認一覧 グループウェア企業記録画面	4.7 x)
2	13	④	3	2	1	理事会議事録 経営会議議事録 部門ミーティング議事録 経営計画書 学校中期計画・学校計画	4.3
2	14	④	3	2	1	クレーム処理手順書 クレーム対応報告書	4.4
2	15	④	3	2	1	ホットライン電話及びメール(学生便覧記載)	3.3.1 d)

① 課題

2-6においては、同一労働同一賃金ガイドラインに基づく均衡待遇、均等待遇を満たしているエビデンスの整理が課題である。
2-9においては、さらに「授業の質の改善」を行うために、専任教員及び非常勤講師を含めての教員にスキルアップの取組みが必要がある。

② 今後の改善方策

厚生労働省が発行している不合理な待遇差解消のための点検・検討マニュアルを利用し、エビデンスの整理、制度の確認を実施する。
非常勤講師の先生方との定期的な打合せと、5月及び10月を『授業見学期間』として実施する。また、年間を通して授業参観を実施する。

③ 特記事項

3 教育活動		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項	
3	1	④	3	2 1	教育課程 シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.1.3 c) 3.3.1 b)
3	2	④	3	2 1	教育課程 シラバス 時間割一覧表 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	3	④	3	2 1	美容師養成施設指定規則 教育課程 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	4	④	3	2 1	美容師養成施設指定規則 教育課程 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	5	④	3	2 1	リメディアル教育の取組 リメディアル教育進捗状況確認資料 オープンキャンパス内コミュニケーションタイム AO入試グループガイダンス面談シート 授業アンケート 新入生宿泊研修時の学力テスト	3.1.3 b)
3	6	④	3	2 1	教育課程編成委員会議事録 キャリア教育の授業実施(授業シラバス) ネットワークサロン懇談会の実施(アンケートシート)	3.1.3 d) 3.2.3 b)
3	7	④	3	2 1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録	3.2.1
3	8	④	3	2	教育課程 シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 a)
3	9	④	3	2 1	教育課程 シラバス 美容師養成施設指定規則	3.2.2
3	10	④	3	2	シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 a)
3	11	④	3	2 1	教育課程 シラバス インターンシップ依頼に関する会議資料 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 c)
3	12	④	3	2	教育課程 シラバス 学校ホームページ	3.3.1 a) 3.3.1 f)
3	13	④	3	2 1	教育課程 シラバス 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	14	③	2	1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録 連携授業に関する打合せ資料 ネットワークサロン懇談会	3.2.2
3	15	③	2	1	教育課程 シラバス 学生便覧 新入生保護者説明会資料 学校ホームページ	3.5.1 b)
3	16	④	3	2	インターンシップ記録(実施計画・評価方法) インターンシップに関する覚書	3.2.3 c)
3	17	④	3	2 1	学校関係者評価委員会議事録	3.5.1 c)
3	18	④	3	2 1	グループウェアログイン画面 プライバシーポリシー グループウェア権限設定	3.5.2 a)

① 課題

3-8、3-9においては更に体系的に作成し、保護者、高校、企業へ理解していただく必要がある

② 今後の改善方策

カリキュラムマップを作成する。

③ 特記事項

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項	
4	1	④	3	2 1	シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.5.1 x)
4	2		③	2 1	就職希望調査票 内定者数一覧 学内就職ガイダンス実施要項	3.5.3 c)
4	3	④	3	2	資格対策授業計画表 事業計画報告書	3.5.3 c)
4	4	④	3	2	QUを実施(診断結果分析シート) 経営会議資料(退学率情報提供) 卒業判定、単位認定会議資料(成績一覧)	3.5.3 c)
4	5		③	2 1	卒業生動向調査 「専門課程就職先一覧(卒業生動向)最新版」 卒業生の情報を企業情報データで把握	3.2.2
4	6	④	3	2 1	学生便覧 学校ホームページ	3.5.1 a)
4	7	④	3	2 1	自己申告シート 職務目標・能力申告表 教育課程編成委員会議事録	3.5.1 b)
4	8	④	3	2 1	成績証明書	3.5.2 a)
4	9	④	3	2 1	学校中期計画・学校計画 事業報告書	3.5.3 c)
4	10	④	3	2 1	教育課程 シラバス 学生便覧 職業訓練認定書類 専門実践教育給付制度指定講座明示書	3.1.2 b)
4	11	④	3	2 1	学校関係者評価委員会議事録 キャリアマップのご案内画面 グループウェア企業記録画面	4.4

① 課題

4-5においては卒業生の動向だけでなく在学中に身に付けた知識・技術がどのように評価されているかを把握する。

② 今後の改善方策

美容サロンネットワークといった業界・企業との連携を進めている分野もあり、他の分野も同じような取組みを、さらに活発に進めていながら、内定先企業様に協力してもらい、3か月6か月1年後の勤務評価チャートのチェックを提出していただく

③ 特記事項

5 学生支援		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
5	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか)	③	2	1	学生便覧	3.1.2 c)	
5	2 学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	③	2	1	学生便覧 なんでも相談室設置 カウンセリング報告書	3.1.2 c)	
5	3 保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか)	④	3	2	学生・保護者の面談記録	3.1.2 e)	
5	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	専門実践教育給付金制度有効指定講座一覧表 学生募集要項	3.1.3 c)
5	5 卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか	④	3	2	1	学び直しセミナーの関連資料 学び直しセミナー資料	3.2.2
5	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④	3	2	1	学生便覧	3.3.1 e)
5	7 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	学生支援からのお知らせ 在校生対象特待奨学生選抜試験実施要項 高等教育学費支援新制度認定校一覧	3.3.1 x)
5	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	④	3	2	1	校務分掌 健康診断実施要項 なんでも相談室設置	3.5.2 b)
5	9 授業についてこられない学生に対して、リメディアル教育や他コースの紹介などの支援策を実施しているか	④	3	2	1	リメディアル教材案内 リメディアル教育進捗状況確認資料	3.5.2 b)
5	10 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	部活動・同好会規程	3.3.1 x)
5	11 学生の生活環境への支援体制はあるか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	④	3	2	1	ひとり暮らしサポート制度申込み書 学生指導記録	3.3.1 x)
5	12 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1	現在は取組みをしていない	3.3.1 x)

① 課題

5-9においては、入学前のリメディアル教育だけでなく、入学後の学力向上に関して力を入れていく必要がある。
5-12においては、現在は媒体業者を通じつつのキャリア教育(ガイダンス:職業別理解)等を除いては連携授業等は実施していない。

② 今後の改善方策

教務と学生支援が連携しながら、また教務も各学校の横断的な考え方で取組みが出来るようにする。
高校側への直接的なアプローチを行いニーズに合わせて対応する。

③ 特記事項

6 教育環境		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
6	1	③	2	1	時間割一覧表 学校平面図 学則変更届	3.3.3 4.8	
6	2	④	3	2	備品一覧	3.3.3	
6	3	④	3	2	学校平面図 教室・実習室一覧	3.3.2 a), c)	
6	4	④	3	2	1	学校平面図 教室・実習室一覧	3.3.3
6	5	④	3	2	教育課程 シラバス 時間割一覧表 学校平面図 パソコン実習室備品一覧	3.3.3	
6	6	④	3	2	1	実習室の在庫チェックリスト 備品管理簿 電球・蛍光灯等管理簿 昇降機の定期検査報告書 貯水槽・清掃点検・仕様基準 エレベータ点検報告書(OTID)	3.3.2 a)
3	7	④	3	2	1	時間割一覧表 学校平面図 グループウェア教室予約状況	3.3.2 c) 4.8
6	8	④	3	2	1	教職員研修計画 消防(避難)訓練実施要項 自衛消防訓練通知書 道路使用許可申請書 公園使用届 グループウェア、訓練実施アンケート	3.3.2 b)
6	9	④	3	2	1	消防計画 防災規程 防火管理規定 危機管理規定 自営消防組織表 消防用設備等点検結果報告書	4.5 b)
6	10	④	3	2	1	インターンシップに関する覚書 職業教育協定書(事業委託契約書)	4.8
6	11	④	3	2	1	インターンシップ記録(実施計画・評価方法) インターンシップに関する覚書	3.3.1 a), b), f)
6	12	④	3	2	1	海外研修旅行説明会資料および 旅のしおり(海外研修)	3.3.3

① 課題

6-5においては、インターネット環境等一部学内のインフラ整備に課題がある。また、今後はさらにICTを活用した授業の取組みが出来るようにする必要がある。

② 今後の改善方策

インターネットの環境等を見直して対応できるようにする。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
7	1	④	3	2	1	期限を決めて誓約書を取り交わしている	3.1.2 f)
7	2	④	3	2	1	入学志願書の保管	3.1.2 a)
7	3	④	3	2	1	学生募集要項 学校ホームページ	3.3.1 g)
7	4	④	3	2	1	学生募集要項 学校ホームページ	3.3.1
7	5	④	3	2	1	学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	3.1.2 e)
7	6	④	3	2	1	学生便覧 学校ホームページ	3.3.1 a)
7	7	④	3	2	1	WCAGのHPを参照 https://waic.jp/docs/WCAG20/Overview.html 言語、文化、読み書き能力に関するニーズや障害やLGBT等の性的少数者に関する特別なニーズについて(内規)	3.1.2 d)
7	8	④	3	2	1	学生便覧 プライバシーポリシー	3.3.1 c)
7	9	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 他学校案内及び募集要項 競合校ベンチマーキング資料	3.3.1 x)

① 課題

7-7においては、学習障害や適応障害の対応力等が不十分である。

② 今後の改善方策

対応方法や支援方法に関する研修会やセミナーへの参加をさらに行い、教務内にて共有する。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
8	1	④	3	2	1	授業アンケート	3.4 3.5.1 d)e)
8	2	④	3	2		授業アンケート 授業参観記録報告書	3.5.3 a) 3.5.3 b)
8	3	④	3	2	1	授業アンケート QUアンケート 授業参観記録報告書	3.5.3 d)
8	4	④	3	2	1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.1
8	5	④	3	2	1	コンピテンシーシート 職務グレード評価	4.6.2 a), b),e)
8	6	④	3	2	1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.2 c)
8	7	④	3	2		専門分野教員研修会参加 新任教員研修資料 出張許可申請書	4.6.2 d)
8	8	④	3	2	1	美容ネットワークサロン(情報交換会) 職業教育協定書(事業委託契約書)	4.6.2 x)
8	9	④	3	2	1	プライバシーポリシー 個人情報の保護等に関する規程	4.1
8	10	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録	4.6.2 f)
8	11	④	3	2	1	文書管理規程 文書管理簿	4.1
8	12	④	3	2	1	内部監査計画	4.9 a)~c)
8	13	④	3	2	1	内部監査報告書 改善要望事項報告書	4.9 d)
8	14	④	3	2	1	改善要望事項報告書	4.9 e)
8	15	④	3	2	1	自己点検・評価結果	4.9 x)

① 課題

8-1においては、授業アンケートを実施し担当教員にフィードバックしているが、それによりどの程度改善されたかが判断し難い。
8-2、8-3においては、教員のスキルUPをさらに高める計画的・継続的研修等の取組が必要である。

② 今後の改善方策

積極的に研修参加を促し、自己スキルUPのための自己研鑽に意識して取り組みさせる。
教員間でお互いの授業参観を行い授業の質の向上に繋げる。

③ 特記事項

9 財務		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
9	1	④	3	2	1	監査報告書一式(経理) 学校ホームページ	4.5 a)
9	2	④	3	2	1	資金収支計算書他 学校ホームページ	4.5 a)
9	3	④	3	2	1	財務分析表 前受金保有率 学校中期計画	4.5 a) x
9	4	④	3	2	1	消費収支予算内訳表 学校ホームページ	4.5 a) x

① 課題

9-4においては、2019年度作成中期計画において2020年度の消費収支目標は達成しているが在籍者数は達成率99%、教職員数は達成率80%と目標未達である。また、2016年度作成中期計画に関しては2020年度が最終年度となるが目標との乖離が更に大きくなっている。

② 今後の改善方策

中期計画策定において、根拠資料の精査や計画作成プロセスを見直す必要がある。
目標未達となった原因特定や計画修正時の根拠と変更後の有効性確認が必要である。

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
10	1	④	3	2	1	職業実践教育給付金講座決定通知書 基本奨励金支給決定通知書 認定職業訓練実施基本奨励金支給申請書	
10	2	④	3	2	1	スチューデントサロン運営実施 オープンキャンパス学生スタッフ取組み	
10	3	④	3	2	1	求職者支援法に基づく職業訓練の認定通知	

① 課題

10-2においては、学生のボランティア活動に関して、意義をさらに考えさせて積極的に取組みをさせたい。

② 今後の改善方策

ボランティア活動に関しての取組む意識と姿勢を育てる指導を行う。また、上級生学生から下級生学生への取組み発信を検討する。

③ 特記事項

ボランティア活動を通して、地域貢献だけでなく学生の成長にも繋げていく事が重要。(主体的に取り組む姿勢を見つけてさせる)

11 国際交流(必要に応じて)		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
11	1	④	3	2	1	留学生学生募集要項 日本語学校学生募集要項 日本語学校教員対象学校説明会実施要項	
11	2	④	3	2	1	留学生学生募集要項 在留資格取次申請者在籍 留学生帰国前チェックリスト	
11	3	④	3	2	1	留学生学生募集要項 下宿案内資料 校務分掌	
11	4	④	3	2	1	決算事業計画報告書	

① 課題

11-2においては、今後の留学生の在籍数が増えていく傾向があるので学修及び生活指導面でさらに充実した対応をする必要がある。

② 今後の改善方策

担当部署の増員及びシステムの見直しを行う。

③ 特記事項